

## アンナのバイオグラフィ日本語版(簡略版)

同じ世代の世界の音楽家の中でも最も表現力の豊かな1人であると評価されているアンナ・サフキナは、2013年と2016年に日本の「仙台国際音楽コンクール」で2度入賞し、同時にオーディエンス賞も受賞しています。

世界の名門と言われるヴァイオリンコンクール、例えばドイツの「ルイ・シュポア」、「タヴィッド・オイストラフ」、「サブシンスキー」、「ロータリー」、「デルフィック・ゲームス」、「ロシアで行われた「ヤンポルスキー」、エストニアの「ヘイノ・エッレル」、ドイツの「フツェナウ・スプリング」、イタリアの「アンドレア・ポスタッキーニ」、セルビアの「エミール・クストリツァ」、カザフスタンでの「アスタナ」でも最高の賞を受賞しています。

1994年にロシアのシベリア地方のブラーツク市で生まれたアンナは、5歳でバイオリンを始め、幼い頃から並外れた音楽的能力を発揮すると、モスクワ、ノボシビルスク、ハンティマンシースク、ヤクーツクでの国際コンクールで優勝しました。

モスクワ国立チャイコフスキー音楽院を首席で卒業、ここではアレクサンダー・ヴィニツキー教授とウラジミール・イワノフ教授の元で学び、またドイツのフォルクヴァング大学でボリス・ガリツキー教授の下で研鑽を積みました。

他にもボリス・クシュニール、ピンカス・ズーカーマン、ドミトリー・シトコヴェツキー、ヒョートル・アモヤル、ミハエラ・マーティン、オーギュスタン・デュメイ、デヴィッド・チャン、ガイ・ブラウンシュタイン、ヴォルフガング・レディック、ギヨーム・シュートレのマスタークラスに参加しました。

2019年には Санктペテルブルク ミュージックハウスのソリストになり、それからは数々の著名な指揮者と共演してきました。

これまで共演して来た指揮者は、ウラジミール・フェドセーエフ、パスカル・ヴェロ、ウラジミール・スピヴァコフ、広上淳一、井崎正浩、ユーリ・バシュメット、アレクサンドル・ルルディン、ウラジミール・シレンコ、ドゥミトル・ゴイア、オルン・オルホン、ミック・マートヴィー、アリム・シャフマメティエフ、アナトリー・レビン、ユーリ・メディアニク、コンスタンチン・チュドフスキー、アジム・カリモフ、ジェレミー・ウォーカー、タオ・ファン、ヴァシリ・ヴァリトフ、ジャン・ルイジ・ザンピエリ、エマニュエル・レダック・パローム、マーティン・ホフ、レオニード・ニコラエフ、アレクセイ・ルビン、サウリュス・ソンドキス、サミュエル・スンウォン・リー、スティーブン・ファン、アレクサンドル・ガネア、ペトロニウス・

ネグレスク、ヴィットリオ・パリシ、アレクサンダー・ティトフ、アレクサンダー・カントロフ、アンドレイ・レベデフ、日比野裕幸...他の皆さん。

また、多くの世界的な音楽祭に情熱を持って意欲的に参加し、活躍しています。

例えば「ヴェルビエ音楽祭」、ユーリ・バシュメットの「ソチのウインター・アートフェスティバル」、ウラディーミル・スピヴァコフの「コルマール国際フェスティバル」と「モスクワと友人達の出会い」、デニス・マツエフの「クレッシェンドフェスティバル」、「バイカル之星」フェスティバル、「モスクワの12月の夜」、アレクサンダー・ルディンの「室内楽フェスティバル」、リアナ・イサカゼのジョージアでの「夜のセレナーデ」、モルドバでの「ヴァイオリンの女王」、日本での「仙台ミュージックサマーフェスティバル」、ドイツの「ブツェナウ・フェスティバル」、「ブラックモアのベルリン・シリーズ」。

2008年11月、「RTNエンターテインメント」の制作でシンフォニーオーケストラと共演したソロアルバムを初めてレコーディングし、2019年にはモスクワ国立チャイコフスキー音楽院の制作で最初の室内楽アルバム～ユーリ・ブツコの作品～をリリースしました。

ヨーロッパ、アメリカ、アジアでのソロコンサートツアーを行っています。